

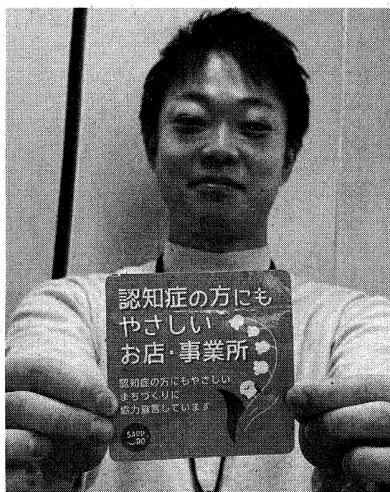
認知症になっても自分らしく暮らし続けられるまちへ

認知症になっても住み慣れた土地で自分らしく暮らし続けられるよう、支援の輪、理解を広める取り組みが進んでいる。札幌市は、認知症当事者や付き添い関係者が気兼ねなく利用しやすいよう、当事者らに優しいまちづくりへ協力する店舗・医療機関等で掲示するステッカーを作製した。愛知県大府市は、見た目では分かりにくい当事者の見守り、援助につながりやすいよう「認知症ヘルプマーク」をデザインし、無償で全国自治体に利用を呼び掛けている。

◆札幌市

「やさしいお店・事業所」ステッカーを配布中

札幌市は認知症当事者ける。業所からの「認知症の方に理解のある市内店舗、活がある共生社会実にもやさしいお店・事業施設などで活用してもらい、現、認知症になっても安所」登録申請を受け、スう「認知症の方にもやさ心して外出できるまちづッッカーを交付する。認しいお店事業所ステッくり推進に向けた取り組み知症への正しい理解を深カーを作製し、無償配布み。医療機関のほかスめるよう努めるなど、市している。掲示店では、パーマーケット、コンビニの「認知症の方にもやさ認知症の有無にかかわらニエンスストア、理美容しいまちづくり協力宣ず来店者にゆくり、優室、飲食店、金融機関な言に賛同が要件。しく、丁寧な対応を心掛と市民に身近な店舗、事出入り口、レジ付近と



店舗内に掲示してもらうステッカー

いった目立つ場所に掲示してもらい、認知症当事者、家族が抱える外出への不安を軽減する。介護事業所は、サポート体制が既に整っているため対

象外。
認知症当事者へ接する際の心得も提供、適切な対応を促す。内容は▼目録している。募集期限は介護予防担当課長は認知が合ったらゆくり近づき、笑顔で対応▼早口、大声、甲高い声は避け、ゆくりはつきり返答する。など。
ステッカーは縦横共に10センチ。認知症支援シンボルカラーのオレンジを基調に、市花スズランと道内に生息するシマエナガをモチーフに描いたデザイン。2024年12月から公募し、同月末までに▼イムス札幌内科リハビリテーション病院▼生活協同組合コープさっぽろ▼日本郵便▼イオン北事業所は順次、市ホームページに掲載する。海道▼札幌マドレーヌ本舗マドレーヌなどが登録している。募集期限は介護予防担当課長は認知が合ったらゆくり近づき、笑顔で対応▼早口、大声、甲高い声は避け、ゆくりはつきり返答する。など。

患者、利用者と外出する際、店選びの参考にしてもらえたら」と話している。